

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2001-520886(P2001-520886A)

【公表日】平成13年11月6日(2001.11.6)

【出願番号】特願2000-518092(P2000-518092)

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N	15/09
A 6 1 K	31/711
A 6 1 K	38/00
A 6 1 K	48/00
A 6 1 P	35/00
C 0 7 K	14/475
C 0 7 K	16/22
C 1 2 N	1/15
C 1 2 N	1/19
C 1 2 N	1/21
C 1 2 N	5/10
C 1 2 P	21/02
// A 6 1 K	39/395
C 1 2 P	21/08
(C 1 2 P	21/08
C 1 2 R	1:91)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	31/711	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	35/00	
C 0 7 K	14/475	
C 0 7 K	16/22	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 P	21/02	H
A 6 1 K	37/02	
C 1 2 N	5/00	A
A 6 1 K	39/395	E
A 6 1 K	39/395	T
C 1 2 P	21/08	
C 1 2 P	21/08	
C 1 2 R	1:91	

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月18日(2005.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

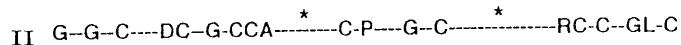
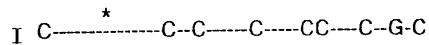
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タンパク質が、アミノ酸コンセンサス配列

【化 1】



ここで、「-」はアミノ酸を示し、アスタリスクが付されている場合、アミノ酸の数は変動しうる；

の少なくとも 1 つを含有してなるものであり、かつ、配列番号：1～7 の DNAにより、及び縮重遺伝コードを介してこの DNA に関連する DNA によりそれぞれコードされるものである、wnt シグナル経路の阻害タンパク質。

【請求項 2】

DNA がそれぞれ、配列番号：1～7 の DNA及び縮重遺伝コードを介してこの DNA に関連する DNA である、請求項 1 記載のタンパク質をコードする DNA。

【請求項 3】

請求項 2 記載の DNA を含有してなる発現プラスミド。

【請求項 4】

請求項 3 記載の発現プラスミドを含む形質転換体。

【請求項 5】

好適な条件下に請求項 4 記載の形質転換体を培養する工程を含む、請求項 1 記載のタンパク質の調製方法。

【請求項 6】

請求項 5 記載のタンパク質に対する抗体。

【請求項 7】

診断的に及び／又は治療的に wnt シグナル経路を阻害するための、請求項 1 記載のアミノ酸コンセンサス配列 I 及び II の少なくとも 1 つを含有してなるタンパク質をコードする DNA。

【請求項 8】

診断的に及び／又は治療的に wnt シグナル経路を阻害するための、請求項 1 記載のアミノ酸コンセンサス配列 I および II の少なくとも 1 つを含有してなるタンパク質。